

私たちのふるさと秋田を次世代へ引き継ぐために

秋田県議会議員

佐藤のぶき

◎県議会
建設委員、
議会運営委員
◎自民党
財務委員、
青年局長

6月議会にて5度目の一般質問

県議会活動報告

観光振興について

- ①秋田犬の活用について
- ②地域スポット型の情報発信について
- ③県北エリアの観光振興について
 - 1.「北海道・北東北の縄文遺跡群」の国内推薦の状況について
 - 2.世界遺産登録に係る課題について
 - 3.世界遺産を活用した県北エリアの観光振興について

地域の再生について

- ①地域振興に係る支援について
- ②買い物難民対策について

県内産業の担い手確保対策について

- ①人口減少化における労働力不足について
- ②高校生の県内就職促進について
 - 1.県内就職率向上に関する施策について
 - 2.高校における県内就職促進に向けた取組について
- ③外国人労働力の確保について



●6月議会にて一般質問に登壇しました。



●建設委員会要望活動において、県選出国会議員及び国土交通省を訪問してまいりました。…………… 8/8



●建設委員会県内調査にて秋田ドローンスクール(平鹿自動車学校)を視察。ドローンを操縦してみました。…………… 8/22



●6月議会建設委員会にて能代港港湾計画について質問しました。

ご案内 県政に関する意見交換会の開催について

- | | |
|---------------------------------|---|
| 10/22(月) 18:30～ 琴丘公民館 | 11/2(金) 18:30～ 藤里町総合開発センター |
| 10/23(火) 18:30～ 能代市
二ツ井公民館分館 | 11/3(土) 18:00～ 八峰町文化交流
センター「ファガス」 |
| 10/25(木) 18:30～ 八竜公民館 | 11/6(火) 17:30～ 八峰町峰浜地区文化
交流センター「峰栄館」 |
| 10/26(金) 18:30～ 山本公民館 | ※お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加くださる
ようお願いします。 |
| 10/31(水) 18:30～ 能代市中央公民館 | |

自治会や町内会の会合などお気軽にお誘いください。そして、皆さんのご意見を是非、お聞かせください。



自由民主党 能代市山本郡第一支部

〒018-2401 山本郡三種町鵜川字大曲53-2
電話 0185-88-8919 FAX 0185-88-8250
Eメール info@sato-nobuki.com

Link 県民と自由民主党
会派をつなぐ
リンク

発行/平成30年10月1日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議会内]
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

県民と自由民主党会派をつなぐ

Link

2018.10 No.33

— 力を結集し、次の時代を切り拓く —

ごあいさつ

自由民主党会派 会長 鈴木 洋一

日頃より、秋田県議会自由民主党会派に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私たち自民党会派は自民党県連とともに、本年を総選挙における国民の皆様との約束を着実に実現する「実行の年」と位置づけ、確かな未来を創るために総力を挙げて、成しうべき責任を果たし、国民の負託に応えていく覚悟です。

私たちは、県内の景況を注意深く見守り、刻々と変化する環境により生じる数々の課題を的確に捉え、県や市町村が目指そうとしている地域づくりを支援するとともに、県内各地域・各企業団体などの要望の実現に力を尽くし、県経済の発展と県民生活の向上に向け、一直線に邁進して参ります。

県民の皆様が取り組まれてきた県勢発展と活力ある地域社会形成のための活動に心より敬意を表し、今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。



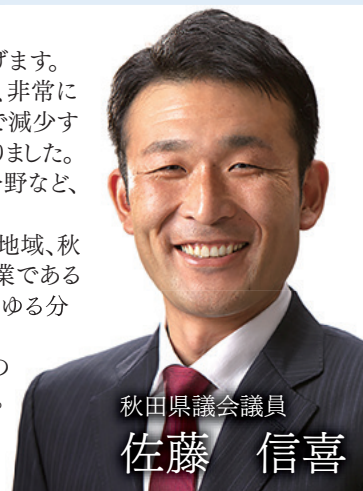
道の駅「おおゆ」

円筒LVL(円筒形の木材)の商品棚は、「秋田県認定リサイクル商品」で能代市で製造されています。

台風7号による西日本を中心とした豪雨災害をはじめ、北海道胆振東部地震、大阪府北部地震などにより、被災された皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

能代山本地域の皆さまには、日頃より大変お世話になっておりますことを、心から厚く御礼申し上げます。また、県事業の推進については、多大なるご理解とご協力をいただいておりますことを、深く感謝申し上げます。本年3月30日、国立社会保障・人口問題研究所により日本の地域別将来推計人口の新データが公表され、非常に残念な結果となってしまいました。本県の人口は、8月1日現在で982,285人ですが、2045年には601,649人まで減少すると予想され、能代山本地域の人口も77,966人(8月1日現在)が2045年には39,062人まで減少することとなりました。前回のLINKでも記載しておりましたが、農林水産業はじめ、地域に根ざした中小企業、医療・福祉・介護分野など、様々な業種の方々の話を聞いていると、後継者不足、担い手不足という声も、更に強くなってきております。また、中小企業においては、事業承継という課題もあり、廃業を待つ企業も多数あると聞きます。能代山本地域、秋田を維持していくためには、これまで同様、一人でも多くの方を秋田に残す・戻すということを念頭に、基幹産業である農林水産業対策や中小企業支援対策、移住・定住対策、雇用対策、外国人技能実習制度の活用など、あらゆる分野で精一杯頑張る所存であります。

政治ができること、行政ができること、県民ができること、それぞれ役割は違うものの、一丸となって、秋田の人口減少に立ち向かい、活力ある秋田を目指し、力強く前に進んでいかなければならないと考えております。引き続き、私たちのふるさと秋田を次世代へ引き継ぐため、地域発展のため精一杯努力してまいりますので、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



秋田県議会議員
佐藤 信喜